

7人の 議員が 町政を問う。

飯沼新吾議員
口蹄疫等防疫対策の強化を



台蔵征一議員
瓜幕地域の住宅対策と活性化を



山岸宏議員
行政区活動に町職員の支援を



埴淵賢治議員
文化施設の一部成すアートギャラリーの建設



狩野正雄議員
農芸公園ハウス施設の活用方法は



川染洋議員
本町の今後の行政施策は何か大事か



上嶋和志議員
農地集積円滑化団体の設置は



Q 口蹄疫等防疫対策の強化を

A 全町的に対策強化をはかります

られる防疫対策をいかに効果的に行うかが重要な課題です。

町として次の項目について農業者はもちろん、関係機関と連携をはかり、なお一層の対策をはかるべきです。

1、全町民及び全町内出入り業者に啓発と協力を求め意識の高揚をはかること。

(答弁) 吉田町長
町民の方々と業者関係の方に徹底します。

(質問)
2、伝播防止のための看板



飯沼新吾議員

(質問)

近年家畜の口蹄疫、鳥インフルエンザ、BSE、ジャガイモシストセンチュウなど病害虫が発生しています。これは、発生すると本町農業にとって壊滅的なダメージとなることはご承知のとおりです。

完璧に防ぐ具体的な防疫対策はありませんが、考え

等の設置は。

(答弁) 吉田町長

町農協、酪農振興会と協力し農家の入り口等に看板を設置し、来訪者に喚起をうながします。



町営牧場



牛舎前に設置された啓発看板

(質問)

3、農村の環境整備の推進について。

(答弁) 吉田町長

町民の方々と業者関係の

方に徹底をします。

(質問)

4、農業者の生産と生活を出るだけ区別し分離することの啓発が必要では。

(答弁) 吉田町長

生産現場と生活をしっかりと分けることよって伝播等の防止になると考えられますので啓発につとめます。

(質問)

5、農業用運搬車両消毒施設の設置は。

(答弁) 吉田町長

関係機関の協力と連携により、車両消毒施設の徹底をはかりたいと考えて検討しています。

Q 瓜幕地域の住宅確保と学童保育の実施を

A 住宅確保は必要、学童保育も検討します



台蔵征一議員

(答弁) 吉田町長

①については、瓜幕地域における住宅対策は必要と認識していますので、町としては民間主体での住宅確保と併せて公営住宅の整備も考えています。

また、従業員確保という視点からの住宅施策と、更に別な従業員確保対策も必要と考え、検討をしています。

(質問)

農家戸数の減少にあわせて、酪農家の規模が拡大し、労働力確保が最も重要な課題となってきました。瓜幕地区だけでも30人以上の方々が就労し瓜幕の活性化にもなっています。

しかし、酪農家個人の従業員住宅だけでは足りません。

地域の人口維持のためにも地域力を生かした活性化対策が重要と考え、次の2項目について質問します。

- ①農家従業員や留学生、移住者の住宅の確保。
- ②瓜幕地区での学童保育の実施計画は。



瓜幕市街分譲住宅

Q 行政区活動に町職員の支援を

A 要請があれば必要に応じて協力



山岸宏議員

(質問)

地域住民の共同組織である行政区は、住民相互の協力により、幅広い活動を行っています。特に葬儀については、お手伝いする方々が高齢者となり、その執行に困難をきたすところが増加すると予想されます。

そこで私は、葬儀に際して行政区から要請があった場合の対応として、町職員



瓜幕保育所



町内会による葬儀の手伝い

の支援体制を検討すべきと考えます。

行政区の運営は自主的に行うのが原則であることは、十分承知していますが、今後益々高齢化が進み、町としての支援は不可欠と思えますが、町長の所見を尋ねます。

(答弁) 吉田町長

これまでも、同じ地域や行政区で葬儀が重なった場合、また相談があった場合には職員が協力しており、今後も地域マネージャー等を通して町に相談があれば支援が出来るものと考えています。

葬儀については、地域の方がごぞつて協力をするという、日本における素晴らしい文化と考えており、そうした意識が薄れないようにとの期待も持ちながら、できるだけ協力はしていきたいと考えています。



笹川地区の子ども神輿



つぶやき

■震災復興のためにも私たちが毎日できること、「風評に惑わされずに必要なものだけ買い求めましょう」